

自然 (生物) 環境保護と保全 (カザグルマの生育状況から)

菊田 穰

Conservation of Organism Environment Observing the Vegitate of wild Вкдлатзс in Sanda City

Minoru Kikuta

はじめに

ある種の動植物に対して、その生息および生育している環境を守ると言うことは、その生物が生息又は生育している周囲の環境を現時点のまま保全することであると書いても過言ではない。

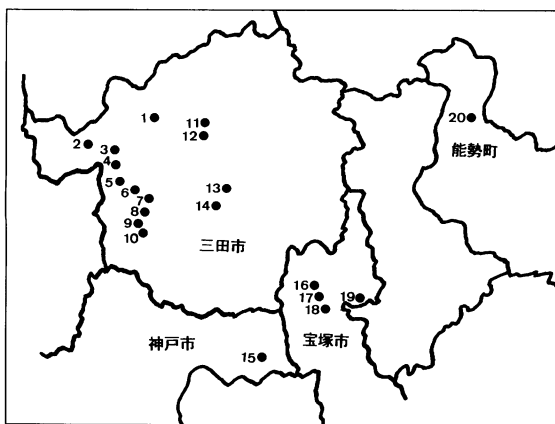
このことを現在北摂地域で自生しているカザグルマの生育状況と照らし合わせて考察したい。

カザグルマ (*Clematis patens* Morr. et Decne.) は本州、四国、九州に自生するキンポウゲ科センニンソウ属の蔓性多年生植物である。この植物は湿性から適湿性の土壌を好み、三田市内の自生地に関しては、ハンノキ・サクラバ・ハンノキ群落の湿性型マント群落としての性格を示している (石田ら 1996)。浜田ら (1975) によると25都府県に、猪野ら (1986) によると27都府県に、全国版レッドデータブック (1989) によると25都府県に自生しているという。上記全国版レッドデータブックでは危急種に、兵庫県版レッドデータブック (1995) ではAランクに指定されている。

北摂のカザグルマ自生地の現状

「北摂カザグルマ保存会」は北摂地区を中心にカザグルマの保存、増殖、配布に取り組んでいる。

1997年12月現在「北摂かざぐるま保存会」は三田市



カザグルマの自生地

に14カ所、神戸市北区道場町に1カ所、宝塚市北部に4カ所、大阪府能勢町に1カ所、計20カ所のカザグルマ自生地を確認している。これらの自生地をその生育状態から3通りに区分した。

第一は自生地周辺の環境が安定していてカザグルマの生育状況は、ここ数年それほど変わっていない場所である。

第二はここ数年の間に生育環境に変化があったかどうかは分からないが、辛うじて1株か2株が生育しているに過ぎない場所である。

第三は植生など自生地の環境の変化によりカザグルマの生育が著しく衰退している場所である。

自生地の具体的状況

第一に該当するのは上図番号「1・6・8・10・11・17・20」の7地点である。

地点「1」は山の北側の林縁部で前面は休耕田ではあるが手入れが行き届き、林内は樹木の生育も急に著しく変わる様子もない場所である。地点「8」は北東斜面の竹林の縁にあたり、道路との境に生えている草や竹はいつもきれいに刈り取られている。この地点は手入れが続けられているかぎりカザグルマの安定した生育が期待できる。地点「10」は北向き斜面にあり、近くにある池の水面は自生地より高い。この自生地は竹林であるが毎年夏に竹が切り払われ、竹の切り株と丈の低い灌木と草が茂る程度で、このまま竹が適当な期間をおいて刈り取られている限り適度の日照が得られる。また競合する植物を伐採することによってその生育が押さえられているので、今後もカザグルマの生育が続くと考えられる。地点「11」は、県道の脇にある小さな池のほとりで毎夏他の草と共にカザグルマも刈り取られている場所である。池の周囲を取り囲む鉄製の柵が幸いし雑草の刈り取りがほぼ鉄柵の高さに保たれているので、カザグルマが地際から刈り取られることもなく、また適度の日照も得られている。この作業が続く限りカザグルマの生育環境としては良好と思える。しかし、最近この地域は道路の拡幅が進んでいるので気になるところである。地点「17」は休

耕田と傾斜した栗林との境に位置し、その境が小さな溝になっている場所である。この地点も草刈が行き届いている。地点「20」は栗林内である。この地点も年に一度は草刈が行われ適度に他の植物の生育が押さえられているので、毎年同じ様な環境が保たれている場所である。地点「6」は林縁に位置している。圃場整備に伴い新しく道路ができて地形は以前に比べ変わっているが、削られて出来た斜面に残っていたものが繁殖し以前より広い範囲に生育している。しかしここはすでにネザサが進入しており、そのネザサが刈り取られる年と刈り取られない年がある。また刈り取られる時期も一定していない。カザグルマの開花にはある程度の日照が必要なので、年によって開花が見られる年と見られない年がある。筐の中に埋もれて蔓さえ見つかりにくい年もあり、生育が必ずしも安定しているとは言えないが一応第一の群に入れた。

第二に該当するのは上図の番号「2・3・4・7・9・13・14・16」の8地点である。地点「2」は県道沿いのネザサが茂る笹藪の中である。地点「3」は県道が近畿自動車道と交差したところの池の端で、灌木とネザサの茂っているところである。地点「4」はいくつかある近畿自動車道の陸橋近くの道端の笹藪内である。地点「7」は県道沿いの林縁部高木の蔭である。地点「13」は青野ダム湖畔の道路脇に位置している。ここも林縁高木の中である。地点「14」は以前は水田であったが現在は休耕しているため笹藪になり灌木も混ざって生えている場所である。地点「16」は川沿いの林縁部高木の中である。以上8カ所の内「2・3・4・14」の4地点はネザサ藪の中、「7・13・16」の3地点は高木の樹下といういずれも日照が少ない共通点がある。地点「9」は墓へ上る坂道の途中の竹藪内で、3年前竹が広範囲にわたり切り取られた。その場所にカザグルマが蔓を伸ばし、一昨年春には2株が花を咲かせた。その年また竹が伸び竹藪に戻ったので昨年はカザグルマがどこに生育しているか分からなくなった。

第三に該当するのは「5・12・15」の3地点である。地点「5」は小さな谷川沿いで18年前に調査を行った時には長さ100m程の北斜面一面に花が咲いていた所である。この場所は上部に近畿自動車道の高架橋が出来、残った斜面には竹藪が侵入し現在では小川沿いの笹藪内にやっと2株残っているありさまである。地点「15」は道場の駅から旧国鉄線路跡を武田尾へ向かう途中の線路沿いである。30数年前の開花期には車中から真っ白く花が咲いているのが見えた所である。昨年確認に行ったがカザグルマの自生株は見当たらなかった。地点「12」は山の縁の農道の土手である。ここは草刈がよく行われ第一のグループに該当すると思われたが、近年草刈り機による草

刈が年に何回も行われている結果、カザグルマは衰弱し株数が激減している。他の場所とは逆に手入れが行き届き過ぎて衰退しているところである。

地点「19」は渓谷沿いの北向き斜面にあり、10年程前に生育していた木が全部伐採され、後にヒノキが植樹された所である。そのヒノキが3、4mに伸び、日照も適度に保たれ、カザグルマが今一番繁茂している状態の所である。しかしこの場所は「兵庫県住宅供給公社」が買い上げたために、元の所有者が下刈りや枝打ちなどの手入れを行わなくなった。この結果、ススキ・ネザサ・蔓植物などが生い茂りはじめている。このままの状態ではヒノキが成長していけば、いずれカザグルマは衰退していくと思われる。

まとめ

以上の事からカザグルマの自生地の中で生育が安定している第一のグループの例からも明らかなようにカザグルマの生育環境は、人の手によって、いつも同じ状態に保たれた環境、即ちその環境に係わる人の生活のリズムが昔から現在、現在から将来へと同じことを繰り返していることが大切だと言える。保全とはこういうことを指すのではないだろうか。

第二の地点「9」にあげているように一度衰退したようにみえる自生地も竹藪を切り取ることによって、以前の状態へ環境が回復し、その結果カザグルマが回復したと考えられる。この上記2点に、即ち「同じ環境条件の維持、環境の回復」と言ういわゆる「保全」がカザグルマの保護に欠かせない条件だと思われる。このことはカザグルマに限らず他の植物にもあてはまると考えられる。

第三の地点「5」は土地の所有者がカザグルマ保護のためそっとして手をつけずに置いたのが、かえって生育環境が変わる原因になり衰退した例である。国の天然記念物の奈良県大宇陀町小附のカザグルマ自生地の現状とよく似ており、このままの状態が続くと今後の生育が懸念される。

最後に

誠に残念なことであるが地点「18」は自生地に盛り土がなされ桜の木が植樹されてしまい、1997年春には盛り土から免れた場所にカザグルマが1本だけ弱々しい芽を出していた。しかし秋にはその姿もなくなっていた。これは人為的に環境が変えられてしまい絶滅させてしまった例である。

自然環境は年々変化している。私は現時点でのカザグルマの生育環境を調査研究をしている余裕はなく、積極的に実生や挿し木により増殖をはかり各自生地ごとの個体を確保し、保存及び復元に備えるべき切羽詰まった時

期に来ていると痛感している。

引用文献

- 浜田秀男・田村道夫・岡田博. 1975. 三田市のカザグルマ自生地. 45pp. 日本住宅公団関西支社. 大阪.
- 兵庫県環境管理課. 1995. 兵庫県の貴重な自然—兵庫県版レッドデータブック—. 286pp. 兵庫県
- 猪野泰三・中村久子. 1986. クレマチス. 151pp. 日本テレビ放送網株式会社. 東京.
- 石田弘明・服部保・永吉照人・鈴木武・小館誓治・菊田穰・赤松弘治・山戸美智子. 1996. 三田市のカザグルマ群落に関する報告. 人と自然, 7:97-104.
- わが国における保護上重要な植物種及び群落に関する研究委員会種分科会. 1989. わが国における保護上重要な植物種の現状. 280pp. (財)日本自然保護協会・(財)世界自然保護基金日本委員会. 東京.